

The World 世界の旅

このコーナーはエムトラをご利用のお客さまや、エムトラスタッフ(や、そのペット)から寄せられた世界の話を皆様に紹介するコーナーです。貴重な体験をお持ちの方はどうぞエムトラへ。

名犬モモー匹旅 ドバイ編

※この物語はフィクションです。

拜啓、日本の皆様。モモは今、アラブ首長国連邦のドバイに来ています。

ドバイにはたくさんの豪華ホテルがありますが、今回モモがステイしたのは「マディナ・ジュメイラ」というリゾートです。…え? 豪華? ドバイの旅の極意は豪華に有り! 日本ではできないことをしなきゃね…。

敷地内には3つの豪華ホテルと40以上のレストラン、75のショップが並ぶ「スク」もあり、まるで小さな街みたい!

水路を伝統的な水上タクシー「アブラ」でリゾート内をゆったり移動…アラブのプリンセス気分のモモなのでした…。

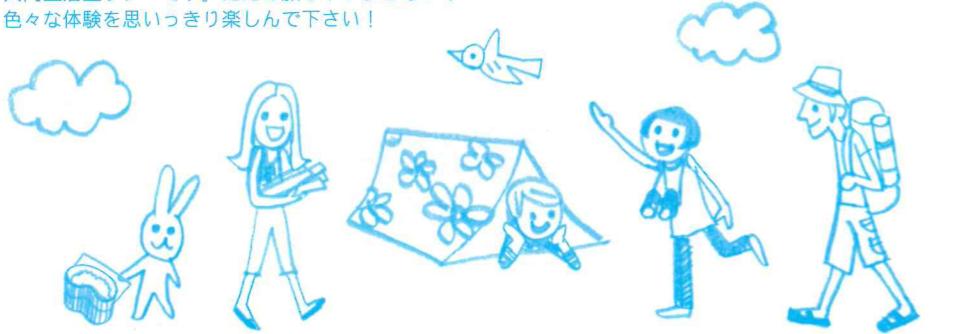


Cross Country Trail 16days 1,179US\$~

シカゴからサンフランシスコまでの現地発着アメリカ横断キャンプツア。

経験豊富なツアーリーダーと世界中から集まる13人のアウトドア好きが、自然を舞台に英語で旅する共同生活型ツアーです。ただの旅じゃまらない!

色々な体験を思いっきり楽しんで下さい!



*出発日: 2007年05月13日・06月03日・06月17日・07月01日・07月15日・08月05日・08月19日
08月26日・09月02日・09月23日

*対象年齢: 18~38歳

*定員: 13名

*天候などの状況によってはホテルに宿泊します。

*毎日の食事代(自炊)、キャンプ泊以外の宿泊代は現地にて別途必要となります。

(ご希望があれば航空機の手配もいたします。前後に他のツアーを組み合わせることも可能ですが。)

*人気のあるプランですので、日本出発の2ヶ月前までにご予約下さい。

*旅行企画実施: Trek America

初 海外旅行! エдинバラ・ブチ留学とフランスへ…!

学生である私にとって初の海外旅行。本当にかけがえのない経験になった。

海外へ出るというのはそんなに簡単なことではないと思うし、とても勇気のこと。だけど、写真で見ると実際見て感じるのは大違い。感動は自分の想像を絶するものだった。私のこの思いはなかなか言葉では伝えられるものではないが、もし「いつか海外に旅行したいなあ」とか「海外で勉強したいなあ」と考えている人がいるならば、即行動していただきたい。きっと、「英語話せないし…」という不安や葛藤に負けてしまっている人がほとんどではないかな? そんな心配本当に無用ですよ!

今回の旅は海外未経験者2人と共にイギリス・エдинバラで3週間ミニ留学し、どうせヨーロッパに行くのだから…という理由で、その後パリへ観光というプラン。かなり欲張りプランだったが、思った以上に格安。

私達は自分より大きいんじゃないかっていうくらいのキャリーケースの運び方もぎこちないまま、関西国際空港を出て香港経由でロンドン・ヒースロー空港着。目が覚めたら英語ばかりの異世界ということで戸惑いの嵐。トイレの鏡なんて高い位置にありすぎて日本人は顔映らない。爆笑だった。

さあ、スコットランドの首都であるエдинバラへ移動。おやおや…何か見覚えのある風景はかりと思ったら、ここはかの有名なハリー・ポッターの聖地じゃないか。あの2階建てバスやお城のような町並みに囲まれながら、私達は3週間夢見心地で勉学に励むことができた。

最初は全然コミュニケーションもとれなかったが、英語ばかりの環境にいれば、自分で気付かぬうちに英語力っていうのは自然に上がるもの。日本では忙しい毎日で、英語力を上げたいが勉強時間が取れないのが現実だったので、本当にいい機会だった。イギリスはご飯がおいしくないことで有名だが、インド料理・中国料理は絶品。是非お試しあれ♪

最後の5日間のパリは本当に最高。一度は行っておかないと損。ショッピング・観光・グルメが一度でこんなにエンジョイできる街はない!と言いつける。みなさんが知っている有名箇所(エッフェル塔、凱旋門、オペラガルニエなど)は全て至近距離にあり、1日で歩いて回れる! しかもみんなお洒落。パリコレ本場は熱い!! ブランド品も全品ほぼ4割引くらいでゲットできますよ♪ しかも日本では決して味わえない絶品のフランスパン、タルト、チーズ、ワイン!! 本場のパンはここまで違うのかと驚きの嵐。

唯一ハブニングといえば、モナリザを楽しみにして行ったルーブル美術館は、火曜休館だったということかな…?

こんな感じで1ヶ月を過ごした私達だが、日本に帰ってきてからは、今後の国際社会で生きていくにはいかに英語が大切か肌で実感させられたため、どんなに忙くても旅行に行く前には、自分は忙しいからと逃げてきた英語の勉強に取り組むようになった。人生経験だけでなく意識改革という意味でも海外へちょっと出てみるというのはいいのではないかと思う。

(金沢市 Y・N 様より)

エムトラスタッフ
鈴木のドバイ研修記

السلام عليكم



「わたしが見た、ドバイ。」

2006年7月、とある金曜日の夜。今日は、旅行業界の人を集めた海外研修への出発日です。ドバイまでは5星のサービスで有名なエミレーツ航空を利用。

早朝ドバイ空港に到着。現地ガイドの山本さんが迎えてくれました。会うなり早々、「お酒はドバイ市内では買えません。お酒を飲みたい方は、今のうちに空港内にあるリカーショップで買ってきて下さい」と説明を受ける。

イスラム圏の中ではかなり規制のゆるいドバイ。とはいっても市内の一般的なレストランやスーパー、デパートではお酒は買えないそうです。ただしホテル内にあるレストランやホテルの部屋の中にあるミニバーにはお酒が置いてあるそう。(…が高い!)

まだ日が明けてないのに何故か蒸し暑い中、空港を後にしました。ホテルで軽く休憩&朝食後、市内観光へ。

ホテルを出てびっくり! 見回す限りの建設ラッシュ。クレーン車が何台も動いています。山本さん曰く、「ドバイには今、全世界のクレーン車の15%が集まっている」とのこと。圧巻です。

元々砂漠だったとは思えないほど急激な発展を遂げたドバイの街。巨大なホテル、商業ビル、ショッピングセンター、どれを見ても莫大なお金で注ぎ込んで作られたのがよく分かる。ひとつの物を作るというより、ひとつの空間を作ってしまった感じだ。

例えば…

『水のテーマパーク: ワイルドワディ』

これが巨大なんものじゃない。兼六園くらいの敷地に、世界一長い、ウォータースライダーを作ってしまった。(元は砂漠だったのに)

『夏場は40度以上になるドバイに、人口スキー場』

エミレーツモールというショッピングセンターにあり、ショッピングエリアからはリフトに乗ってスキーを楽しむ人たちの様子が見える。入場料はすごく高いのだけれど、家族連れでいっぱいだ。

『ホテル: パージュアルアラブ』

元々は王族の方が半分遊びで作ったそうだ。研修なのでもちろん見学してきたけれど、圧巻の一言。

建物内に入ると金の柱が見え、ディズニーランドかと思う程の水のショーが行われている。お部屋はすべてスィートルーム。超お金持ちの方のために、ホテルの上の方にヘリポートもあります。

夜は毎晩異なる色でライトアップされて、今やドバイのシンボルとなっています。

教育上、こう言うのはよくないかもしれないけれど、お金があると奇抜な事ができるものだなあ…と実感した。

彼らの「遊び心」を垣間見ることは、私のような庶民の日本人にとってはよい経験。「良いもの」「おもしろいもの」「遊び心のあるもの」から学ぶべきものはたくさんある。見るもの全てが、豪華で完璧を目指していました。

今後ドバイがどうなっていくか、密かに見守ろうと思います。

エムトラ 進化論

このコーナーでは、日々進化し続けるエムトラ情報を毎回少しづつ皆様にご紹介しています。
質問等も受け付けますので、メール・ハガキ・口頭などでどしどしお寄せ下さい。

植物がすごい!

正木流の育て方があるそうな。

植物をいつも枯らしてしまう、というあなたは是非エムトラへ…。

封筒が3色になりました。

今までの白、ピンクに加え、新たに水色が仲間入り。季節と気分によって使い分けです。

岩塩かじってみませんか…?

エムトラにネパール仕入れの岩塩があります。

興味のある方、ひとかじりどうぞ…。

聖なるガンガーin エムトラ。

エムトラにはたくさんの不思議な置物がありますが、その一角にガンジス川の源流、マナリの水があるのはご存知ですか?
今度いらした時に、是非探してみてください。

手ぬぐい作りました。

エムトラオリジナル手ぬぐいです。

数量限定のため、Getできるかは正木の気分と運次第。

「すみません、在庫なくなりました…。」(正木談)
また作るかも…? 次回をお楽しみに。

チベット語教えます。

エムトラでは、インドのダラムサラでタンカ(仮面)の勉強をした田上さんの作品を展示しています。

また、彼女がお手伝いしたタンカの本も置いてありますので、興味がある方は是非エムトラまで。

チベット語に興味がある方も是非お問合せください。

